

帝釈自治振興区

しんこうセンターたより



第 214 号

(令和元年 5 月 7 日)

発行：帝釈自治振興区

電話：6-0055 (FAX 兼)

E-mail : taishaku@vesta.ocn.ne.jp

帝釈自治振興区会長就任挨拶

4 月 19 日の総会において、会長の承認をいただき、6 期目のスタートをさせていただきました。過去 5 期 10 年におきましては、皆様方のご理解・ご協力により、帝釈ならではの地域づくりが着実に進んでいると思います。

自治振興区の活動につきましての評価は、各々とりえ方が違うと思いますが、数多くの活動内容は一つ一つ成果を生み、帝釈を取り巻く環境も、年々少しづつではありますが、変わってきていると感じていただいていると思います。

少子高齢化・人口減少により、年々過疎化が進展し、帝釈地域の将来を考えると、集落地域の維持を大変憂慮するところです。

こういう状況の中で、高齢者の皆さんが心身ともに元気で健康寿命を高めるためにはどうすればよいか、また、福祉・介護・生活支援対応など、皆さんが実感していただくべく、今後も努力してまいります。

自治振興区としては皆さんが「社会参加」「身体活動」ができる場の設定・環境づくりに努めますので、どうか帝釈自治振興区のイベントや各支部・老人会の集まり、サロン、グラウンドゴルフ、リハビリ体操などに、積極的に参加していただき、住民皆さんとのコミュニケーションを大切にしてくださいようお願いいたします。

また、今年は昨年の大雨災害を踏まえて、自主・地域防災のあり方について検討していきます。

すでに 5 月より新しい元号「令和」がスタートしております。

帝釈の皆さん一人一人が明日の希望とともに、各々の花を大きく咲かせる新たな気持ちで、皆様とともに地域づくりに努めます。

皆様の力で素晴らしい帝釈地域が創造され、さらに、今年が飛躍の年になりますよう祈念申し上げ、就任のあいさつといたします。



帝釈自治振興区
会長 表 良則

これからの主な行事予定・施設利用等

- 5月 7日(火) 行政文書
9日(木) ベっぴん会
10日(金) 専門部会
11日(土) 体協東城支部 GG 帝釈予選会 午前8時30分受付
13日(月) 庄原市政懇談会(東城支所 午後7時~)
14日(火) おふくろの味料理教室 午前9時30分~
15日(水) 帝釈子ども会会議 午後7時30分~
16日(木) 役員会 午後7時30分~
18日(土) 環境整備作業 午前8時~
18日(土) ステンドグラス教室
19日(日) ステンドグラス教室
19日(日) 体協東城支部グラウンドゴルフ大会(東城中央運動公園)
20日(月) 行政文書
23日(木) ベっぴん会
26日(日) 帝釈地域大運動会 午前9時~
29日(水) 帝釈かじかサロン
- 6月 5日(水) 行政文書
6日(木) 武士の台所 午前10時~
8日(土) 帝釈地域ゴルフ大会(富士三次カントリークラブ)



その他の教室

グラウンドゴルフ教室 午前9時~(5/9 5/23)

(グラウンドの状態では変更になる場合があります。)

箏曲教室(5/10 5/17 5/24)

「**運動会前の環境整備作業**」にご協力をお願いします。

5月18日(土) 午前8時~11時ころまでの予定で作業を行います。

主にグラウンド周辺の草刈り作業とグラウンドの草取り作業です。作業用具は各自ご用意ください。ご協力をよろしくお願いいたします。



帝釈地域大運動会 5月26日(日) 午前9時開会

各チームで選手名簿を提出していただくようにしています。

みなさんの積極的な参加をお願いします。





4月16日(火)に竹渡集会所を訪問しました。竹渡大仙長寿会の総会があり、総会の前に庄原市地域包括支援センターの保健師、亀竹恵巳さんと末廣康二さんを招聘して、庄原版終活ノート、「いきかたノート～私からあなたへ～」の出前講座がありました。

いきかたノートは、どんなノートなのか、講座の後でいただいたパンフレットから引用して、紹介します。

※パンフレットから

「いきかたノート～私からあなたへ～」は人生のゴールに向けて“その時まででどう生きるか”を考えるためのノートとして、庄原市が独自に作った終活ノートです。

いきかたノートは自分自身が考えて記すためだけでなく、家族や身近な人と、自分の考えを共有するためのノートです。年齢を重ねるにつれ、家族やご近所の助け、介護・看護のサービスが必要になる場合があります。実際にどのような「生き方」、「逝き方」ができるのかは、家族や身近な人の理解や協力によっても変わってきます。少しでも自分の希望に近い「いきかた」を実現するために、ノートをきっかけにして、自分の希望を伝え、相談しておきましょう。

今回の出前講座では、いきかたノートには、こんなことを書きますと、具体的に丁寧に説明していただきました。

講座の最後に、受講された皆様の中から、庄原市が推進している地域包括ケアシステムについての課題を指摘する声がありました。帝釈地域の近くの病院で、訪問医療を担う病院が少ない。これでは、自宅で最期を迎えたいという願いを叶えることができないという声です。

